

木造住宅合理化システムの認定結果について

公益財団法人 日本住宅・木材技術センター

1. はじめに

木造住宅の振興を図るため様々な対応策が講じられておりますが、その一つとして、木造住宅の受注・設計・生産・供給の合理化が強く求められております。

当センターにおいては、合理化した木造住宅の生産供給システムを対象とした「木造住宅合理化システム認定事業」を平成元年から実施し、前回までに957システムを認定しました。これまでに認定されたシステムを使って供給した住宅は、累計で76万棟を越えます。

2. 認定の対象

次の二つのタイプを認定の対象とします。

①基準性能タイプ：木造軸組工法による住宅を生産・供給することができる合理化されたシステム

- イ 生産・供給において合理化された提案があること
- ロ 性能が建築基準法施行令の関係法令及びフラット35の関係技術基準に適合していること
- ハ 規模・平面・立面に選択性を有すること
- ニ 供給後に長期性能保証・維持管理補修サービス等ができること

②長期性能タイプ：基準性能タイプの基準に加え、長期優良住宅の認定基準（長期使用構造等の基準）の次の性能を有するシステム

- イ 劣化対策
- ロ 耐震性
- ハ 維持管理・更新の容易性
- ニ 省エネルギー性

3. 申請システムの審査結果

今回、申請のあったシステムについて、当センターに設置した審査委員会で審議した結果、令和3年1月1日付けで、更新で長期性能タイプ1システムを認定しました（別紙参照）。

問い合わせ先：公益財団法人 日本住宅・木材技術センター
認証部 増村
TEL 03-5653-7581
FAX 03-5653-7582

第32C次 木造住宅合理化システム 認定リスト

更新認定……長期性能タイプ

認定番号	認定システム名 ／認定取得者名	システムの概要	所在地 ／連絡先
L1501-02	J G S - II 株サトー住販	<ol style="list-style-type: none">1. 構造用集成材による軸組材の標準化及び接合金物によるプレカット加工の省力化、生産性の均一化と省力化を図っている。2. 床・壁のパネル化及び先行床張りによって、工期短縮と作業安全性の向上を図っている。3. 木造住宅合理化システム認定規程による長期性能タイプの基準を満たしている。4. 完成後の保全・維持管理体制が整っている。	山形県 0237-84-5061

システムの名称：JGS-II工法

第1章 システムの基本的な考え方

従来工法の軸組とパネル工法の合体した構造をなし、テックワン接合金物用プレカットラインを設備し、エンジニアリングウッドを使用することで、住宅性能を高め、完成度の高い常に品質の一定な住宅を供給するシステムである。設計から施工、そして工場生産や品質管理、また資材流通業務の管理を徹底し、品質の向上とコストの低減を実施する。また、引渡し後も性能保証に義務付けられたアフターメンテナンスまでを一貫したシステムにて、家づくりをおこなうことを基本とする。

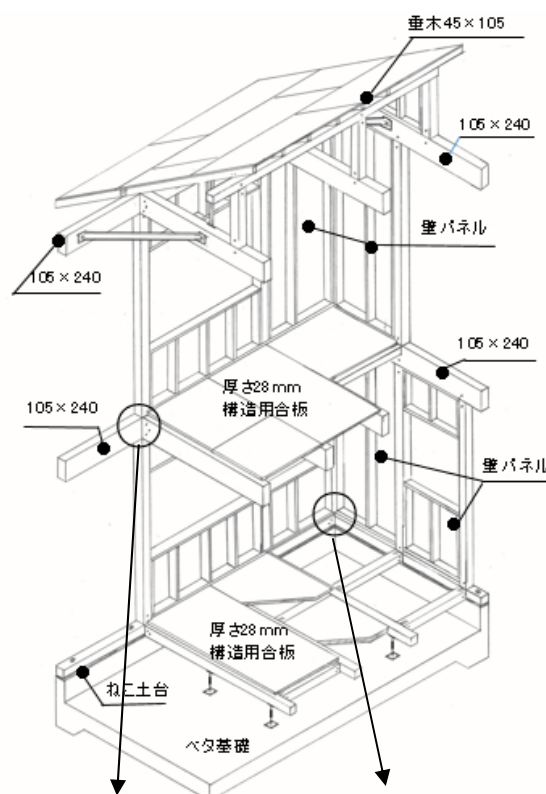
長期優良住宅に求められる品確法の水準

- | | |
|--------------------|-------|
| 1) 構造躯体の劣化対策 | ⇒等級 3 |
| 2) 耐震性 | ⇒等級 3 |
| 3) 維持管理・更新の容易性 | ⇒等級 3 |
| 4) 省エネルギー性能（地域区分Ⅱ） | ⇒等級 4 |

第2章 システムの概要

2. 1 工法の概要

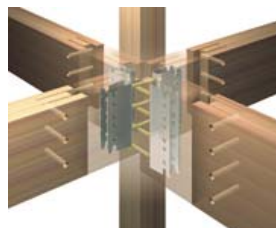
- 1) 基礎はべた基礎とする。
- 2) 土台は加圧防腐防蟻処理剤材/ヒノキ/ヒバ 105mm×105mm を用いる。
- 3) 床下換気は、ねこ土台を用いる。
- 4) 横架材を標準寸法 105×240、垂木を 45×105 に標準化、プレカット加工・現場組み立て・資材調達の合理化をしている。
- 5) 厚板面材（ア）28mmを土台・大引きに直接施工（先行床張）し、根太を省略する。
- 6) 接合金物による機械プレカットにより工場での大幅な人件費の削減と高精度を実現し、また、現場での省施工を図っている。
- 7) 金物工法である関係上、土台を除き横架材の支持部分以外での接合は禁止し、接合金物はテックワンとし、その補強が必要な場合は、認定金物又は同等以上のものとする。
- 8) 壁をパネル化することにより施工の短縮・品質の一定な住宅を供給する。



自社プレカット工場



接合金物 テックワンP3

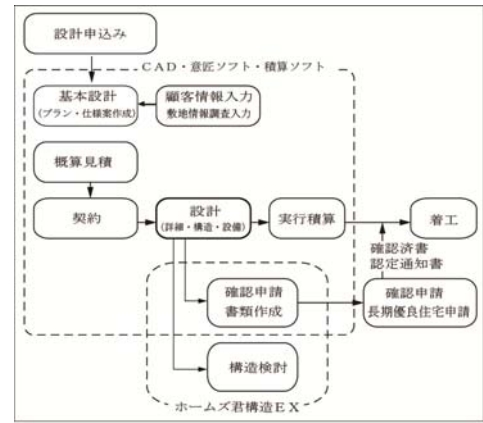


主な接合金物接合箇所



2. 2 営業・設計からプレカット加工

- 1) 短時間でプラン作成から、各種伏図、詳細積算にいたるまで一つのシステムで作成する。社内LANシステムと営業のからのデータ、CAD・CAMデータをWEB上で共有し、効率化を図っている。
- 2) 住宅性能診断士ホームズ君「構造EX」を用いた構造設計による安全確認を行う。



CADによる営業



データを基にCAD入力



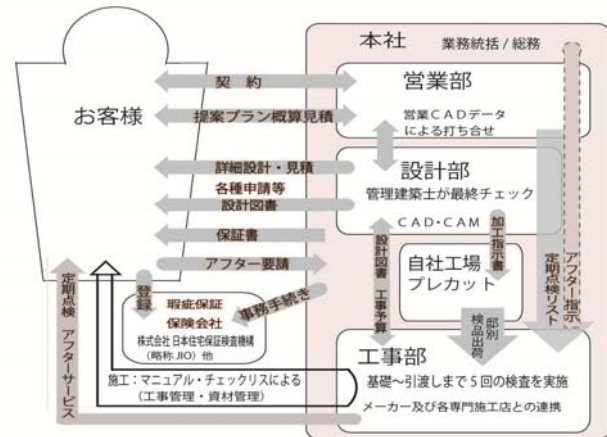
自社プレカット加工

第3章 供給体制について

3. 1 流通の短縮と設計、自社工場プレカットでの一貫したシステム

JGS-IIの躯体の殆どが標準化された構造用集成材で構成し、日本集成材工業組合の会員であるニツ井パネル、ハイテクウッド等の各社、各工場により流通の短縮化を図り直接工場に納入する。

また、接合金物及び壁パネル用耐力面材も各メーカーから同様に納入する。



3. 2 販売体制

- 1) 販売組織方法：本社営業部、営業担当者と販売委託先にて受注及び販売を行う。
- 2) 契約：契約
- 3) 品質管理方法：CAMで出力された加工指示書により生産管理者が現場ごとに検品出荷する。
- 4) 設計体制：本社設計部で検収し管理建築士がチェックする。
- 5) 施工体制：施工マニュアルを活用し、工事担当者による検査リスト、チェックリストを活用する。
- 6) 施工管理：基礎・建て方・造作・竣工・引渡しの5回にわたる検査を行う。

第4章 維持管理について

1) 維持管理補修サービス等

維持管理は35年維持管理計画書を基に長期保守点検計画を作成し、定期検査の実施及びサポートを行う。

定期巡回は、引き渡し後3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月とし、無償で訪問検査・点検を行う。

維持補修は、所定のメンテナンスサービスを行う。

2) 維持管理

「構造躯体」「屋根・外壁・開口部等」「設備」等に対して点検部位・項目、点検時期等を記載する。

3) その他

住宅瑕疵担保責任保険法人の住宅瑕疵担保責任保険に加入する。